

針金 勝彦

平政会

地産地消の推進に向けての考え方

【問】地産地消の推進に向け、中心市街地の空き店舗の利用も考えられる。基本は民間主導と言われるように、行政としてのかかわりに限界はあるがさらなる推進の計画はあるのか。

【答】平成18年8月に、能代市地産地消推進計画を策定し、学校などの給食や市内飲食店、小売店で地産農産物の利用拡大を図ってきた。町中の空き店舗での常設直売所については、地産地消を推進する手法の一つと考え、農業者や関係団体等への提案に向け、検討したい。また今後もPR等を含め、一層の推進に努めたい。

いじめ問題に対しての市教委の取り組み

【問】いじめ問題が大きく取りざたされる中、各学校の取り組みへの支援や相談機能の充実に資する取り組み、教員研修の実施等についてどのような施策を行っているのか。

【答】いじめの未然防止のため学校生活アンケート「Q-U」を今年度小学校6年生から中学校2年生まで拡大実施している。また、いじめの早期発見・即時対応のため心の教室相談員を小学校5校、中学校7校に配置している。そのほか、全教職員を対象とした不登校・いじめ防止研修会を各学校で実施している。

その他の質問事項

- 職員の見直し
- 地産地消の新たな商品開発
- いじめに対し現場の正確な状況把握

庄司 紘八

よねしろ会

空き家対策

【問】空き家は市内やそれぞれの地域に大変多くなってきた。特に昨年は積雪が多く、隣家の積雪量に不安を感じた方は少なくなかったと思う。このようなときにどう対応すべきか。

【答】市が把握している空き家の件数は、5月7日現在で1,266件である。苦情や相談があった場合は所有者に適切な管理や対策をお願いしているが、対策が講じられないケースや、所有者が不明の場合などで、人命や周辺に危険を及ぼすおそれがあるときは関係機関と連携して、必要最小限の緊急安全措置を行っている。

ラジオの難聴地域解消

【問】昨年の大震災以来、ラジオの重要性が見直されている。しかし能代市内では電波が弱かったり電波障害で聞き取りにくい難聴地域が多くあり、アンテナ整備をぜひお願いしたい。

【答】昨年NHK秋田放送局に問い合わせたところ、能代地域の大部分については、国が定めた電界強度の基準を満たしており中継局の新設や送信出力の増力は難しい状況にあるため、個別の受信相談で対応することだった。今後状況を見ながら、関係機関に対しラジオ中継局の設置について要望を行うことも検討したい。

その他の質問事項

- 能代工業団地の有効活用
- 能代球場の駐車場増設
- 釜石の奇跡に学ぶ防災教育

信太 和子

市民連合

庁舎整備における議会議事堂と市民の声

【問】議事堂原則解体の方針が出された中、議事堂の活用・解体の是非を語る市民の会が開催され解体に批判的で、署名運動も始まる。市民の声の高まりをどうえ民意を探る努力が必要だ。

【答】当該市民の会などで、さまざまな提言や意見があったことは十分に承知しており、これらについては真摯に受けとめ、今後の検討の参考にしたい。また、この後の庁舎整備基本計画（案）に関する市民説明会やパブリックコメントの意見により、必要があれば、さらにさまざまな角度から検討し、方向づけしていく。

天空の不夜城と大型七夕の計画変更

【問】あきた未来づくり交付金の対象とならず、23メートル天空の不夜城の平成25年運行が不可能となった。市単独事業による5丈8尺の灯笼製作への変更が突然出されたのはなぜか。

【答】交付金の活用にあたっては、広域連携を含む観光振興の考え方と大型七夕の位置づけ、市民や七夕関係者の理解と協力等が必要として、プロジェクトチーム設置に至らなかった。原点に戻り、記録に残る5丈8尺の七夕灯笼の復元運行を検討することとし、23メートル七夕は引き続き交付金の活用を県と協議したい。

その他の質問事項

- イオン新能代店とけじめ
- 空き家対策と条例化の検討
- 5教育文化施設の指定管理